



南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和4年10月6日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

「With コロナ」の校外学習

校長 小川 高弘

9月には、3年ぶりの修学旅行をはじめとして、3学年それぞれの校外学習を行うことができました。特に宿泊行事は、令和2年1月以来、2年8か月振りとなりました。この期間、緊急事態宣言等の行動制限のため実施することができませんでしたが、現在もコロナがゼロになったわけではなく、感染対策を徹底しての実施でした。そのためには、学校だけではなく、現地で受け入れてくださる方々の多くの努力・工夫、生徒・保護者の感染対策が必要不可欠でした。様々な制限が見直されていますが、しばらくは「With コロナ」の意識で教育活動を実施していきます。今後も、学校・生徒の取組だけでなく、保護者や地域、外部の方々のお力を借りて、教育活動を充実していきます。1・2年生の実行委員長が、10月3日の全校朝礼で、他学年の生徒に向けて、行事の報告をしました。立派な報告でしたので、紹介させていただきます。3年生の報告は、後日の朝礼で行う予定です。

今回の修学旅行で、3年生がお世話になった洛南会館のロビーに、徳川家康の遺訓が飾ってありました。約400年前の言葉ですが、現在でも当てはまることが多いと感じましたので、朝礼で全校生徒に紹介しました。

徳川家康 遺訓

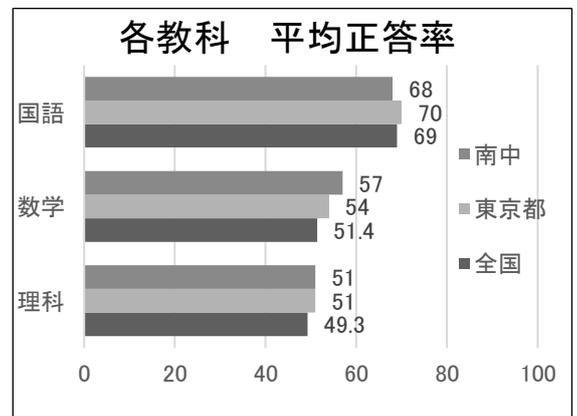
人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。
不自由を常と思えば不足なし。
ここに望みおこらば困窮したる時を思い出すべし。
堪忍は無事長久の基、いかりは敵と思え。
勝つ事ばかり知りて、負くること知らざれば害その身にいたる。
おのれを責めて人をせむるな。
及ばざるは過ぎたるよりまされり。
人の一生というものは、重い荷を背負って遠い道を行くようなものだ。急いではいけない。
不自由が当たり前と考えれば、不満は生じない。
心に欲が起きたときには、苦しかった時を思い出すことだ。
がまんすることが無事に長く安らかでいられる基礎で、「怒り」は敵と思いなさい。
勝つことばかり知って、負けを知らないことは危険である。
自分の行動について反省し、人の責任を攻めてはいけない。
足りないほうが、やり過ぎてしまっているよりは優れている。

「全国学力・学習状況調査」結果について

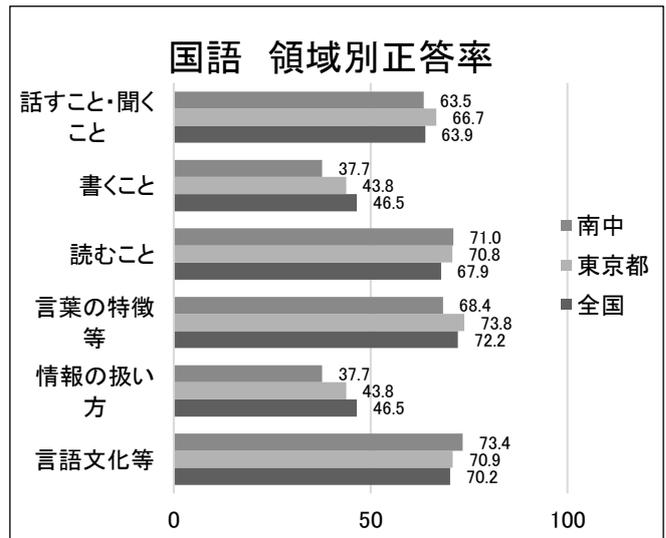
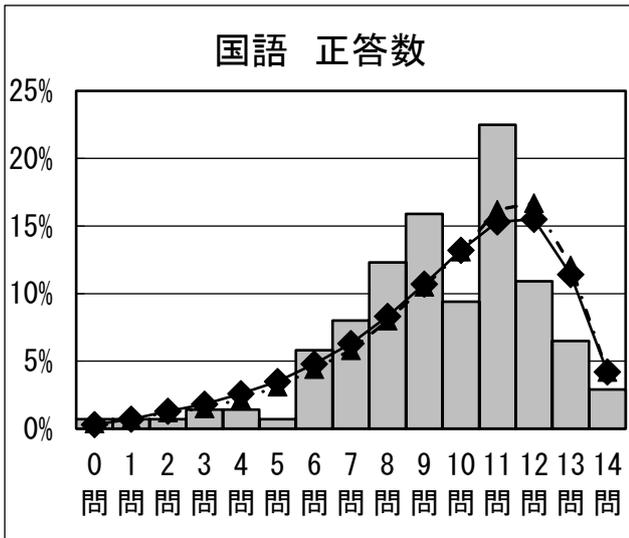
この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の改善を図るとともに、学校における指導の充実や改善に役立てることを目的として、毎年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に実施しています。国語と数学は毎年実施、理科は4年振りの実施です。

南中の各教科の平均正答率は、東京都の平均より国語は2ポイント下回り、数学は3ポイント上回り、理科は同ポイントとなっています。総合的に見れば、東京都の平均とほぼ同じといえます。

各教科の正答数分布グラフは、縦軸が生徒数の割合(%)、横軸が正答数、折れ線グラフが東京都平均と全国平均、棒グラフが南中の割合を表しています。領域別正答率の横棒グラフは、上段が南中、中段が東京都、下段が全国の平均を表しています。



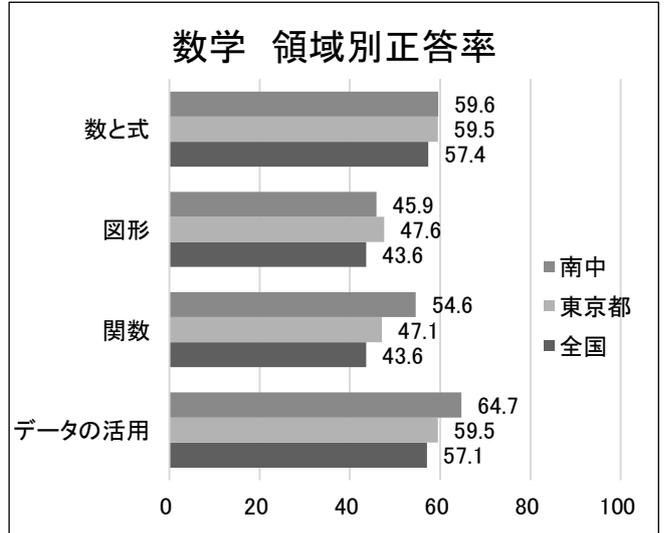
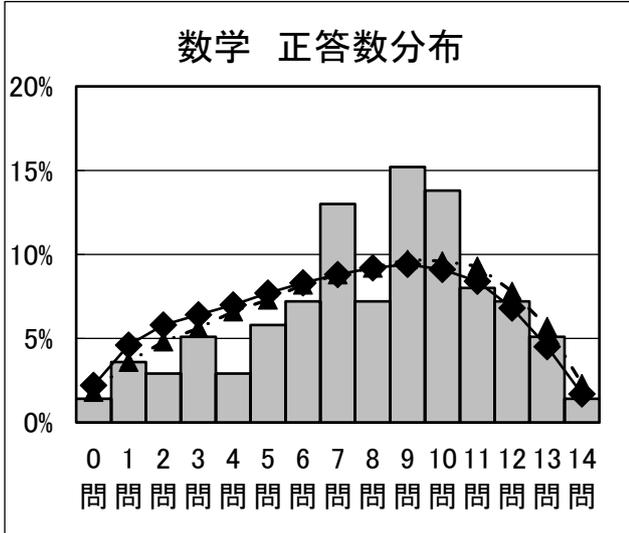
【国語】



正答数分布グラフによると、全体としては正答数の多い層に分布しています。しかし、領域別正答数を見ると、「読むこと」「言語文化等」においては東京都平均を上回っているものの、その他の領域では若干ずつ平均に達していませんでした。特に、「書くこと」において課題が見られます。今回の「書くこと」の出題の意図としては「助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うこと」「文脈に即して漢字を正しく書くこと」「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと」が挙げられています。

1年生では漢字など知識の定着を図り、文章を書くための語彙を増やしていきます。2年生では言葉の働きを理解し、文章を推敲する力を養います。3年生では根拠を明確にした文章を書く実践を積んでいきます。

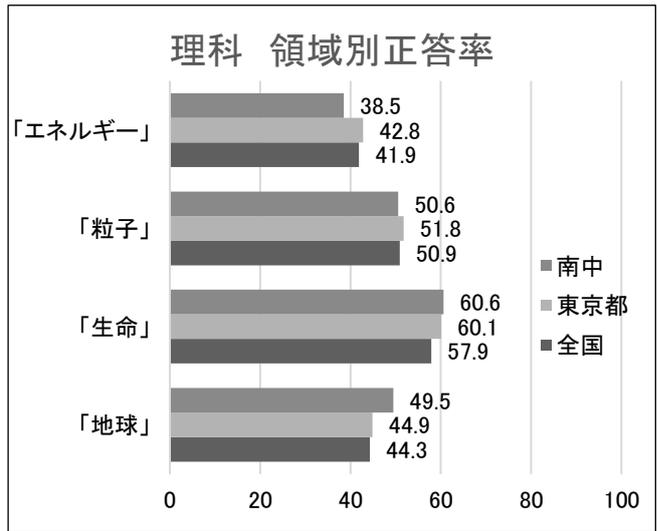
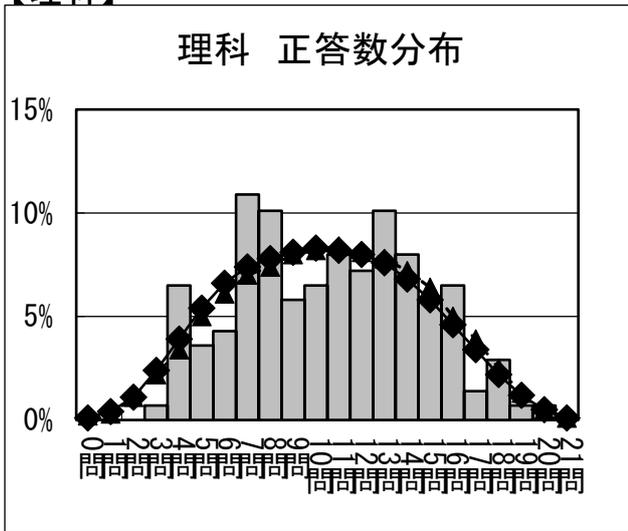
【数学】



正答数分布グラフによると、全体としては中間層から上位層に多く分布しています。ほとんどの領域で東京都の平均を上回っています。特に「関数」では7ポイント、「データの活用」では5ポイントと、東京都の平均値を大きく上回っています。しかしながら、「図形」が1.7ポイント平均を下回っており、課題が見られます。

1、2年生では、基礎的な計算力の定着を図るために、繰り返し計算に取り組む時間を作っていきます。また、1年生で図形の基礎、2年生では筋道を立てて考えることに時間をかけて取り組んでいきます。3年生では計算問題や、関数や図形を含む複合問題にも取り組んでいきます。

【理科】



正答数分布グラフによると、正答数の多い層と低い層に分かれ、緩やかな二極化傾向にあります。全国平均は、正答率 49.7%と5割を下回りましたが、南中は51.0%でした。

今回の学力調査では、他者の考えの妥当性を検討したり、実験の計画が適切か検討して改善したりする問題など、思考力を問う内容が多くありました。単元別では「エネルギー」の正答率が38.5%と低く、測定する間隔や範囲の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかを考えることに苦戦していました。

1・2年生では、観察や実験を通して理解力や表現力の育成に取り組みます。3年生では、観察・実験を通して自ら課題を発見し、解決する力を養います。

2年 移動教室（志賀高原）

2年生は、9月8日(木)～10日(土)の2泊3日、長野県志賀高原で移動教室を行いました。1日目は農業体験、2日目はハイキング、3日目は飯盒炊爨に取り組み、ユネスコパークに指定されているほど豊かな自然が溢れる志賀高原を満喫しました。多くの生徒が初めての宿泊行事であり、コロナ対策のため男女別宿としましたが、ほぼ予定通りに実施することができました。昨年度のスキー教室の代替行事ではありますが、スキー教室とは違った体験をすることができました。



全校朝礼での報告

実行委員長 柴田 桜菜

私たち2学年は、「共生～大自然に親しみ深めよう心も体も友情も～」というスローガンのもとに、長野県にある志賀高原に行きました。移動教室の目的は、

- 1 体験活動やハイキングを通して、自然と共生する感覚を養い、日常生活を見つめなおす機会とする。
- 2 農業体験を通して、勤労の尊さを理解するとともに、自身の勤労観や職業観を養う。
- 3 体験活動や宿舎での生活を通して、他者の良いところに気付き、より良い人間関係を築く。
- 4 実行委員を中心に、ルールを決める活動を通して、生徒一人一人が自らの役割と責任を果たすという実感を持ち、その後の学校生活に生かす力を養う。の4つです。

移動教室では、目的やスローガンを頭に入れて2泊3日間過ごしました。1日目は農業体験、2日目はハイキングと箸作り、3日目は飯盒炊爨に取り組みました。星空観測は、悪天候で実施できませんでした。

私が移動教室を通して学べたことは、2つあります。1つ目は「協調性は大切」ということです。体験活動や宿舎内の生活を通して、普段から交流の少ない人とも助け合ったりしながら一つの活動に取り組めたと思います。2つ目は「感謝の心をもつ」ということです。移動教室でお世話になった人への感謝は大切です。

今回の移動教室では、様々なところで「絆」を作ることができました。移動教室を通して学んだことを、今後の学校生活に生かしていこうと思います。

1年 校外学習（川越）

1年生は、9月22日（木）川越で校外学習を行いました。川越は、「蔵造の町並み」や「時の鐘」、「菓子屋横丁」等の見学地も多く、古き良き川越の町を体験できる場所です。先生の引率ではなく、自分たちで計画・実行する班別行動は初めての経験でしたが、時間を見ながらの計画変更もスムーズに行うことができ、ほぼ時間通りに東久留米まで戻ることができました。



全校朝礼での報告

実行委員長 杉本 千歳

私たちは9月22日に川越へ校外学習に行きました。個人ではなく1学年全員が楽しんで学ぶことができることを目的としました。みんなで考えて決めた「楽学両道～川越で学び、川越で楽しむ～」というスローガンをもとに行きました。今回は中学生になって初めてのことばかりの校外学習でした。小学校の頃にはなかった班別行動では自分たちで行動計画を考え、時間を見ながら行動しなくてはいけませんでした。そしてルールも自分たちで考えました。持っていくものや集合時間を考えること、お小遣を持っていくのも初めてでした。係会では一人一人が自分の係に責任をもち全力で取り組んでいました。当日は、はぐれてしまったり、うるさくしてしまったりと、多少のマナー違反はありましたが、皆で楽しく学ぶことができたので良かったです。事後アンケートでは、みんなが団結し、スローガンを達成することができたと言っていたので良かったと思います。私は今回初めて実行委員長になり、責任感というものを学びました。実行委員長は学年をまとめ、実行委員を引っばっていく大切な存在です。そんな大切な仕事が私に務まるか心配でした。しかし、実行委員の仲間や先生方が助けてくれたおかげで、無事校外学習を終わらせることができました。そこで私はもう一つ仲間が大切だということも学びました。今回の校外学習で学んだことを忘れず、今後の学校生活や次のスキー教室などに繋げて生かしていけるようにしたいです。

3年 修学旅行（奈良・京都）

3年生は、9月26日（月）～28日（水）の2泊3日、奈良・京都の修学旅行を行いました。1日目は奈良公園を中心とする班別行動、2日目はクラス別に京都をバス行動、3日目は班別タクシー行動で、事前に学習した内容を自分の目で確かめてきました。東大寺の大仏の大きさ、清水の舞台の高さ、金閣寺の金色、どれも写真では見ていたものの、本物の迫力に圧倒されました。



第63代 南中学校生徒会役員

9月15日（木）に、役員選挙立会演説会・投票を行い、第63代南中学校生徒会役員が決定しました。今年は例年より立候補者が多く、演説会での演説を聞き、投票をしました。投票の際には、東久留米市選挙管理委員会より、投票箱と記載台をお借りし、実際の選挙の雰囲気も感じることができました。新役員の方々の活躍に期待します。

会長	矢島 彩夏	（2年1組）	庶務	最上 大也	（1年1組）
副会長	若松 大樹	（2年1組）	庶務	野倉 未羽	（1年1組）
副会長	桜井 陽向	（2年4組）	庶務	加藤 はな	（1年2組）
			庶務	南部 晃宏	（1年4組）

南中生の活躍

○ 全国中学生人権作文コンテスト 東京都大会

東久留米市代表 明神 陽大（2年5組）